

選挙へ行こう！



働くみんなの願いが 実現できる政治に変えよう！

10月4日に国会が開会し、安倍・菅政権の中枢にいた岸田氏が総理大臣に選出されました。しかし、国民への丁寧な説明と「聞く力」をアピールしていますが、予算委員会も開かず解散を決めてしまいました。これまでの安倍・菅政権と同じ国民の声を聴かない強権的な政治の中身が変わらないことは明白です。大阪でも府民の声を聴かない政治が続いています。総選挙で必ず投票に行き、私たちの要求が実現する政治に変えていきましょう。

菅政権を退陣に追い込んだのは、オリンピック・パラリンピックの強行をはじめ、無為無策を重ねたコロナ対応に国民の怒りが集中しただけでなく、異論を排する強権政治、次々と発覚する疑惑解明に背を向けたことに強い批判を浴びたからです。跡を継いだ岸田内閣は、「政治とカネ」の疑惑で、安倍氏に「村度」し自民党本部が提供した1・5億円を原資とする大規模買収事件や「森友」問題の再調査に取り組みうとしません。また、学問の自由を破壊した日本学術会議介入も撤回しようと思わず、国民の心に沁えようとはしていません。

同様に、科学的見地を無視した府民の声を聴かない、強権的な政治が維新政治によって大阪でも続けられています。吉村知事は「臨時のコロナ用の病院を作ればよい」と言っていますが、今回のコロナ感染拡大で、その場しのぎの対応ではなく、「医療スタッフの育成」「地域医療・公衆衛生の充実」が必要なのに明らかになりました。大阪でもコロナ病床が不足し、医療崩壊が起きたにもかかわらず、自公政権がすすめる「病床削減推進法」に賛成したのが、松井市長が代表の日本維新の会です。

学校の過密解消に逆行！

学校でのクラスターの発生も見られ「学校での教室の過密の解消」などが必要と指摘されました。しかし、大阪府教育委員会は島本高校（島本町）、茨田高校（大阪市鶴見区）、泉鳥取高校（阪南市）の3校の府立高校を2023年度から募集停止し、廃校にすると発表しました。府立学校条例は「3年連続志願者が定員に満たなければ再編整備の対象」としていますが、コロナ感染が広がりがこれまでも違う対応が求められています。「学ぶ権利」を保障するためには、定員にはゆとりがあつて当たり前でなく、少人数学級を実現し、教育条件を改善することが必要です。

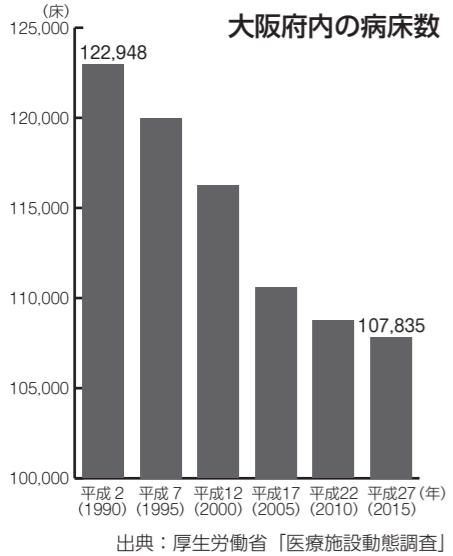
今なぜ看護学校の補助金カット！

新型コロナウイルス感染拡大で看護師不足が深刻となっている中、大阪府内の府医師会看護専門学校（160名定員）・淀川区医師会看護専門学校（100名定員）の2校の閉校が発表されました。背景には、大阪府の運営費補助金の削減があり、維新府政の責任は重大です。今こそ、未来の看護師を育てる公的補助金の継続や増額が必要です。

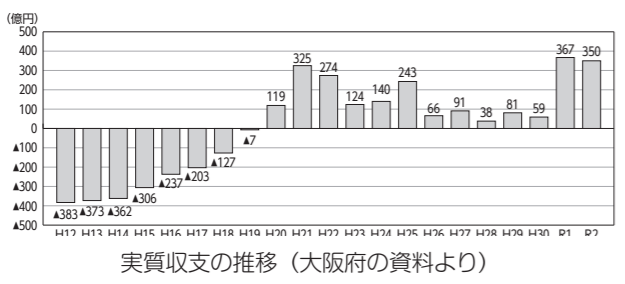


地域医療を充実させ、コロナ感染からいのちを守ろう！

自公政権は、2025年を目標に病院の病床数削減のため、440の公的・公立病院の再編統合を打ち出しました。その中には大阪にある11の公的・公立病院も含まれています。大阪府以外の都道府県では公的・公立病院の再編統合に反対して立させました。コロナ受



上記の図の通り、2015年まで大阪府内の病床数は減ってきています。440の公的・公立病院統廃合の推進や「病床削減法」を受けて、今後、病床数はもっと減っていきます。ただし、コロナ専用病床は増えていますが、コロナが終息するこの病床は減らされる可能性があります。また、コロナ専用病床に従事する医療従事者が確保できないため、病床の半分ぐらいしか機能しません。



府の周辺部の学校が次々廃校に！

●「定員」を理由に廃校にされた府立高校
○募集停止が計画されている府立高校

池田北高校 島本高校 西淀川高校 茨田高校 泉鳥取高校 大正高校 柏原東高校 長野北高校 泉鳥取高校 茨田高校 西淀川高校 島本高校 池田北高校 泉鳥取高校

近々に行ける高校がなくなる！

大阪府の積み立ては増えている

吉村知事はマスコミに必要以上に露出し「やってる感」を演出しています。しかし、府のコロナ対策1兆1750億円のうち、国からの補助金などを除けば、わずか22億円足らずです。自治体は今回のコロナ対策など緊急時のために、「財政調整基金」がありますが、府の財政調整基金は300

なかまをふやして、要求を実現しよう！

コロナ禍で困難な中でも、各組織では様々な工夫してとりくみをすすめています。大阪労連では9月22日、コロナ禍を収めるために必要なことは？この間の運動の実績は？政治の失策は？などを通して政治を転換させる必要性を感じることができている内容を想定した労働学校を、最前線でコロナ禍に立ち向かった森田のぶ前日本医労連中央執行委員長を招いて開催しました。

今後、何が必要なのかを意見交流し、病床削減、人員配置基準を



国労大阪会館を

研修・学習会などにご利用ください
JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ
◆身障者用昇降機設置
お申し込みは ☎06(6354)0661
〒530-0034 大阪市北区錦町2-2

	自民	公明	維新	国民	立憲	共産
病床削減推進法	○	○	○	○	×	×
75歳以上の医療費窓口負担2倍化	○	○	○	○	×	×
憲法改正手続き一部改正法	○	○	○	○	○	×